



えどがわボランティアセンターだより

出会い

ふれ合い

助け合い

令和5年10月発行
第62号

【発行】

公益財団法人えどがわボランティアセンター
〒132-0031 江戸川区松島1-38-1 グリーンパレス
電話:03-5662-7671 FAX:03-3653-0740

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けてSDGsに積極的に取り組んでいます。

ここでも
ボランティア①

“2023 夏のボランティア体験”に参加した 篠崎中学校の平野未結さん・野村悠真さんにインタビュー



紅林校長と生徒さん

夏休み(7月21日～8月31日)を利用して、小学生から社会人まで幅広い世代の方々が「夏のボランティア体験」をしました。今年は図書館、保育園、熟年者施設に協力をいただき、延べ161名が参加しました。そのうち、篠崎中学校から50名の参加があり、生徒2名の方に感想を伺いました。

3年生 平野 未結 (ひらの みゆ)さん 〈活動先〉NPO法人 元明館
3年生 野村 悠真 (のむら はるま)さん 〈活動先〉おはなしにここ

何故、参加しようと思ったのですか。

(平野さん)今回、学校から夏のボランティア体験のお話があり、ボランティアを体験することは将来の自分に役に立つのではないかと思います、自らの意思で申し込みました。

また、以前テレビで障がい者施設で働いている方と入所している方の笑顔があふれていることが印象に残っていて、以前から障がい者施設に興味がありました。ぜひ機会があったらそのようなアットホームな空間で働いてみたいと思って、ボランティア体験に参加しました。

(野村さん)学校から夏のボランティア体験のお知らせを見て、今までボランティアの経験は一度もなかったのですが、その経験することによって何か人の役に立ちたいと考えたからです。



平野未結さん



野村悠真さん

実際に体験をしてみてどうでしたか。

(平野さん)様々な年代の障がいをお持ちの方と接することにより、以前からコミュニケーションが大切だと思っていましたが、いろいろな世代の方と接して、自分のコミュニケーション力をつけることができたと思っています。障がい者の方と学校のこと、夏休みのことなどを話しながら、時間を忘れるくらい充実した、やりがいを感じることができた貴重な体験をさせていただきました。また機会があればやりたいと思うほど楽しかったです。

(野村さん)私は保育園で園児の皆さんに絵本の読み聞かせのボランティアをしたのですが、園児が面白いところでは楽しそうに笑っていました。読み終えた後、園児の皆さんから拍手をもらったことが印象に残っています。はじめは緊張しましたが、終わった時にやってよかったなと思った瞬間でした。以前は人前で話すことが苦手でしたが、事前に図書館でユーモアのある内容の絵本を選定し、自ら準備して臨みました。その結果、園児の皆さんの笑顔にあふれた姿を見ることができて、本当にこのボランティアをやってよかったと思いました。

今回の経験を今後の中学校生活や将来にどのように活かしていきたいですか。

(平野さん)私は今までも学校生活で礼儀を大切にすることを中心掛けてきました。今回のボランティアを通して感じたことは自分で先を見て判断し、自分から気づき、行動するということが大切だということが分かりました。今後の学校生活でも自分がすべきことを自分で考え判断して、人の役に立ちたいと考えています。これからも障がい者の方と接する機会があれば、自分からお声がけをするようにして、今回の貴重な経験を活かしたいと思っています。

(野村さん)私は今回のボランティア体験で誰かのために何かをすることは、周りのみんなが笑顔になるということが分かりました。今後の学校生活でも自分の行動で誰かがマイナスの気持ちではなくプラスの気持ちになれるように、また笑顔で幸せな気持ちになれるように、このボランティアの経験を活かして行動していきたいと考えています。

問合せ先

(公財)えどがわボランティアセンター ☎03(5662)7671

2023 ボランティアフェスティバルを開催します!

- 1 日 時 11月25日(土) 10:00~15:00
 2 会 場 タワーホール船堀 1階展示ホール
 3 内 容 (1)展示コーナー
 (2)ステージ ①式典(11時30分から)
 ②団体による活動紹介
 (3)イベントコーナー



※詳しくは、左のコードでボランティアセンターホームページをご覧ください。



「東京都つながり創生財団」の紹介

東京都つながり創生財団のホームページでは、都内で暮らす外国人の生活での困りごとや知りたいことについて、さまざまな言語で相談できる窓口を設けています。また、弁護士などの専門家と連携した専門相談のほか、多言語による対応が難しい場合の通訳サポートも行っています。ボランティア活動をするうえで参考にしてください。

外国人のための生活ガイドの内容

<日本に住むときの手续>

住むところが決まったとき、結婚・離婚するとき、子どもが生まれたとき

<子どもを産む・育てる>

妊娠したとき・赤ちゃんが生まれた、子どもを育てる、保育園・幼稚園

<住む・生活する>

住むところを探す、引越しをする、暮らしのマナー

<税金・銀行> 税金を払う、口座

<年金・福祉サービス> 年金、介護保険

<乗り物に乗る> 電車・バス・タクシー・飛行機

<日本で働く> 在留資格、仕事を探す

<病気やけがのとき>

病院へ行く、薬を買う、医療保険

<急な病気や事件・事故のとき>

急な病気やけがのとき、火事が起きたとき

※東京都つながり創生財団のホームページ・・・<https://www.tokyo-tsunagari.or.jp>

ボランティア入門講座 「障がいを知ろう」を開催

8月26日(土)にグリーンパレスにおいて、江戸川区福祉ボランティア団体協議会の主催でボランティア入門講座が開催され、21名が参加しました。

まず、視覚障がい者、車いす利用者、聴覚障がい者の方がそれぞれ講師として、日常生活で困っていることや健常者をお願いしたいこととお話した後、実際に車いすの操作体験、視覚障がい者の同行支援(ガイドヘルプ)、手話の体験をしました。

当日は小・中学生の参加もあり、皆さん真剣な表情で受講していました。



ボランティアさん情報

募集情報の掲載を希望される施設や団体の方は、
ボランティアセンターまでご連絡ください。
TEL 03-5662-7671 / FAX 03-3653-0740

白鷺特別支援学校同窓会でのボランティア募集

内 容 … 同窓会総会(アトラクションあり)受付、会場誘導などの運営手伝い

日 時 … 11月19日(日) 9時30分～12時30分(集合9時15分)

場 所 … 白鷺特別支援学校体育館(東小松川4-50-1)

都営地下鉄新宿線船堀駅より徒歩10分、東京メトロ東西線西葛西駅より都バス新小21「新小岩」行き

「松江第一中学校前」下車、葛西駅より都バス錦25「錦糸町」行き

「松江第一中学校前」下車

交通費 … 実費支給(1000円まで)

昼 食 … 支給なし 持ち物 … 室内シューズ

電 話 … 090-7201-9255 担 当 … 亀山



・「フードネット江戸川」への食品提供とボランティアの募集・

「フードネット江戸川」は毎月3回、14時～17時、家庭で余っている食品を持ち寄っていただき、それらを分別・仕分けし、食料の支援を必要としている方(ひとり親家庭、生活困窮者等)に寄贈するフードバンク活動をしています。

夏休みは子どもたちの給食がないことで需要は増えています。代表の大場さんは、「運営は厳しいですが、喜んでいただき笑顔で帰っていただくとやり甲斐もあります。また、ボランティアの皆さんとおしゃべりをするのも楽しみのひとつです。皆さんも仲間になっていただき1時間でもお手伝いいただければ助かります。」とおっしゃっていました。

●寄付いただきたい品 … 米、缶詰、レトルト・インスタント食品、飲料(水・お茶・ジュース)、生理用品、洗剤、調味料、食用油等 ※注意:賞味期限が1ヶ月以上あるもの、未開封

●場 所 … 中央3-10-20-101

●連絡先 … 070-7562-3518 大場(フードネット江戸川代表)



7月・8月分

使用済み切手 受領:35件/13.8Kg

.....
ボランティアの振興に、有効に使わせていただきます

ボランティア団体登録数

登録団体数:162団体

登録人数:3,572人

(令和5年8月末現在)

ここでも
ボランティア②

視覚障がい者とともに歩む 「アイフレンズ江戸川」の星谷弘子さんにインタビュー

●ボランティアのきっかけ

平成6年に子どもが中学生になり時間に余裕ができたころ、ちょうど「広報えどがわ」に「なぎさ和楽苑」のボランティアの募集記事が目にとまり、応募したのがきっかけでした。「なぎさ和楽苑」では、約20年間認知症デイサービスの「くつろぎの間」で活動をしていました。次第に視覚障がい者の方に関心に移り、今の活動に繋がっています。これが私のボランティア活動の原点です。

●「アイフレンズ江戸川」の活動

「アイフレンズ江戸川」は、平成16年に江戸川区視覚障害者福祉協会（江視協）の前理事長からの要請を受けて立ち上げました。現在も62名の会員でボランティア活動をしています。主な活動は、視覚障がい者の外出支援、代筆・代読、社会参加活動及び文化と健康に係る活動を支援しています。江視協のクラブ活動（フォークダンス・民謡・コーラス・社交ダンス・太鼓等）の講師も会員が務めています。また、年2回の研修会、江視協との共催による行事等で親睦を図っています。

●幅広いボランティア活動

「おはなしキラキラ」では、区立小学校の特別支援学級で紙芝居、エプロンシアター、指人形などの活動をしています。

また、「江戸川区の昔話を語り継ぐ会」で昔話を聞かせる活動にも参加しています。

さらに、江戸川区福祉ボランティア団体協議会の会計担当（兼普及推進副会長）、ボランティアフェスティバルへの参加、出前ボランティア等の活動をしています。

●今後のボランティア活動に向けて

最近、ボランティアセンター経由でお問い合わせいただいた方の入会もあり、会員が増えてきたことを心強く思っています。今後も会員のスキルアップを図りながら、視覚障がい者の皆さまに寄り添い、お困りごとの支援を続けていきたいと考えています。



星谷弘子さん（ボランティアセンターにて）



江視協40周年記念にて表彰を受ける



研修会でのあいさつ



区長感謝状受賞者とともに（中央）



出前ボランティアにて（中央）

問合せ先

（公財）えどがわボランティアセンター ☎03(5662)7671